

情報工学科			英語				
学年	第2学年	担当教員名	林 幸利				
単位数・期間		5単位	通年	週当りの開講回数	3回	必修	履修単位
授業の目標と概要		教科書とその他の自主教材を用い、標準的な単語・熟語および標準的な文法の知識の習得、標準的な文章の読解力の養成、基礎的な表現力の養成、基礎的なリスニング力の養成を目指す。これらにより、論理的な文章を記述したり、基礎的なコミュニケーションを行えるための標準的な英語力を身につける。					
		釧路高専目標	F:100%		JABEE目標		
履修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等)		週1回のペースで、年間15回程度の英検単語集の「単語テスト」を行う。年間2回(7月上旬、2月中旬)、英語検定形式の実力試験である「英検テスト」を実施する。第2回の英語検定(10月実施)の準2級の試験を全員受験する(受験料は学校が負担、すでに取得済みの場合を除く)。学年末の再試験は1回のみとします。					
到達目標		単語・熟語、文法、読解、作文、リスニング、基礎的なコミュニケーションの各分野において、英語検定準2級レベルの英語に対応できる。					
成績評価方法		定期試験の成績を60%、「単語テスト」の成績を20%、「英検テスト」の成績を20%、これらの合計に0.8を掛け、それに英検準2級の評価点(2次合格20点、1次合格17点、A判定14点、B判定10点、C判定0点)を足した点数を英語の総合成績とする。さらに、この総合成績が60点以上の場合に、平常点を5点以内で加算・減算する。ただし、その結果は60点～100点に収まるものとする。					
テキスト・参考書		教科書1:POLESTAR ENGLISH COURSE?(数研出版) 教科書2:英検文で覚えるプラス単熟語準2級(旺文社) 参考書1:スーパーアンカー英和辞典(学研) 参考書2:2008年度版英検準2級全問題集(旺文社)					
メッセージ		語学は毎日の地道な取り組みによってのみ効果が表れます。授業はもちろん、予習・復習にしっかり時間を費やしてください。また、おっくうがらず辞書を調べることを。					
授 業 内 容							
授業項目				授業項目ごとの達成目標			
1. Lesson1, Lesson2(Part2まで) 2. 英検文法(7回) 3. 英検リスニング(3回) 4. 単語テスト				1. a) 文中の重要単語熟語の意味が言える。 b) 文章の内容が理解でき、それについての簡単な英問英答ができる。 2. 英検準2級合格に必要な文法の基礎が理解できる。 3. 英検準2級のリスキングの基礎的な問題が聞き取れる。 4. 英検準2級合格に必要な単語熟語の意味を判別できる。			
前期中間試験				実施する			
1. Lesson2(Part3から), Lesson3 2. 英検文法(7回) 3. 英検リスニング(3回) 4. 単語テスト 5. 英検テスト(第1回)				1. a) 文中の重要単語熟語の意味が言える。 b) 文章の内容が理解でき、それについての簡単な英問英答ができる。 2. 英検準2級合格に必要な文法の基礎が理解できる。 3. 英検準2級のリスキングの基礎的な問題が聞き取れる。 4. 英検準2級合格に必要な単語熟語の意味を判別できる。 5. 60%の得点率に到達できる。			
前期期末試験				実施する			
1. Lesson4, Lesson6(Part3まで) 2. 英検文法(7回) 3. 英検リスニング(3回) 4. 単語テスト				1. a) 文中の重要単語熟語の意味が言える。 b) 文章の内容が理解でき、それについての簡単な英問英答ができる。 2. 英検準2級合格に必要な文法が理解できる。 3. 英検準2級のリスキングの標準的な問題が聞き取れる。 4. 英検準2級合格に必要な単語熟語の意味を判別できる。			
後期中間試験				実施する			
1. Lesson6(Part4から), Lesson8 2. 英検文法(7回) 3. 英検リスニング(3回) 4. 単語テスト 5. 英検テスト(第2回)				1. a) 文中の重要単語熟語の意味が言える。 b) 文章の内容が理解でき、それについての簡単な英問英答ができる。 2. 英検準2級合格に必要な文法が理解できる。 3. 英検準2級のリスキングの標準的な問題が聞き取れる。 4. 英検準2級合格に必要な単語熟語の意味を判別できる。 5. 60%の得点率に到達できる。			
後期期末試験				実施する			